

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-1-5 事業名 会瀬町地内避難路整備事業（避難通路拡幅）									
事業費 総額 24,287 千円（国費 19,429 千円） （内訳：工事費 20,358 千円、測量設計費 2,830 千円、用地費 1,099 千円）									
事業期間 平成 25 年度～平成 27 年度									
事業目的・事業地区（必要に応じ、別紙として地図を添付） 本路線は、津波被害のあった会瀬町 1 丁目地区から高台の市街地への避難路（階段）であるが、幅員が狭く急こう配なことから、歩行者が安全かつ迅速に避難できるように拡幅整備する。									
事業結果 <table border="1"> <tr> <td>避難路拡幅</td> <td>（整備後）</td> <td>（整備前）</td> </tr> <tr> <td>工事延長</td> <td>L = 113m</td> <td>L = 113m</td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>W = 3 m</td> <td>W = 1.8 m</td> </tr> </table>	避難路拡幅	（整備後）	（整備前）	工事延長	L = 113m	L = 113m	幅員	W = 3 m	W = 1.8 m
避難路拡幅	（整備後）	（整備前）							
工事延長	L = 113m	L = 113m							
幅員	W = 3 m	W = 1.8 m							
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本路線は、幅員が狭く歩行者が 2 列でしか通行することができなかったが、拡幅し手摺や転落防止柵等を設置することで、3 列で安全に避難することが可能になった。 また、付近には会瀬海水浴場があり、シーズン中に津波が発生した場合には最大 300 人の利用が見込まれる。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 太陽光発電システムを活用した道路照明灯を採用したことで、電気代が掛からずライフサイクルコストが縮減できると共に、停電時にも安全に避難できる。 階段工について、二次製品を使用せず、現場打コンクリートで整備しコストを縮減するとともに、現場発生土は埋戻しへの流用に努め、残土処理の抑制を図った。</p> <p>③ 事業手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 25 年度 測量設計</td> <td>平成 25 年度 測量設計</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度 用地補償</td> <td>平成 26 年度 用地補償、整備工事</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 整備工事</td> <td>平成 27 年度 整備工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>本路線は、通称「かんしょの坂」として地元で親しまれていたが、東日本大震災により一部被災したことから地元より早急な整備を要望されたため、同様な道路の通常の事業期間である 3 年での整備を計画した。地元の協力により予定より早く用地の取得が完了したことから、早期に整備工事を行い、当初計画よりも半年前倒しで完成することができた。</p>	当初計画	実績	平成 25 年度 測量設計	平成 25 年度 測量設計	平成 26 年度 用地補償	平成 26 年度 用地補償、整備工事	平成 27 年度 整備工事	平成 27 年度 整備工事	
当初計画	実績								
平成 25 年度 測量設計	平成 25 年度 測量設計								
平成 26 年度 用地補償	平成 26 年度 用地補償、整備工事								
平成 27 年度 整備工事	平成 27 年度 整備工事								
事業担当部局 茨城県日立市都市建設部道路建設課 電話番号：0294-22-3111（内線 762）									